

The Interschool Journal Weekly 全国集会版

Published & Edited by Kenji HIRAMATSU Mail:interschooljournal@gmail.com Twitter:@isj_interschool

低温雨天下 水泳授業問題

都教委が日本自治委に回答

都教委、校長会で全都立学校長に周知

東京都教育委員会都教委は、2日、日本自治委員会に対し、低温下・雨天下水泳授業問題に関する回答文を送付した。同回答文は、先月24日に日本自治委員会が都教委に対して送付した抗議文への回答。回答文は中西正樹・都教育庁教育情報課長名で発出されており、日本自治委員会が要求した教育長名での返答は行われなかった。都教委は回答文の中で、日本自治委員会が要求した4項目について回答した(左資料)。

都教委の回答を受け、日本自治委員会の平松けんじ議長は、5日夕方、都教委・教育情報課と同指導企画課に対し、電話で回答文に関する抗議と、回答の真意について確認を行った。電話の中で都教委教育情報課・利根川課長代理は「事案決定規程で教育情報課が対応するということが決まっている。本件については課長決定区分ということでは課長名で回答している。」と回答した。

その後、平松議長は、回答文別紙を作成した都教委指導企画課・美越統括指導主事に回答の趣旨について問い質した。美越統括指導主事によると、都教委は、4日に開かれた全都立学校の校長が出席する「校長連絡会」で都立小山台高校の事例を示して、対象者の学年、能力、水温、

【資料】日本自治委の要求と都教委の回答
 (1)小山台高校、国立高校、立川高校の3校の水泳授業の指導方針を直ちに是正させること。
 (都教委の回答)
 ○当該校の水泳授業の実施状況について、聴き取り等により状況を把握した。
 ○文部科学省の「水泳の手引き(三訂版)」を参考として、対象者の学年、能力、水温、気温、学習内容等を考慮して、水泳授業の実施の可否を判断するよう、校長連絡会で改めて周知する。

(2)都立学校全校において気温及び水温が23度未満の低温下、及び雨天下の水泳授業が行われていないか調査・点検すること。並びに、万が一そういった事例を把握した場合は、これを是正させること。
 (3)都立学校全校において、「水泳実施期間中、雷が鳴っている場合を除き、温度・天候にかかわらず水泳を実施する」運用が行われているかどうかを調査し、存在するようであれば直ちに是正させること。
 (都教委の回答)

○水泳授業の実施の可否の判断については、対象者の学年、能力、水温、気温、学習内容等を考慮することが大切であり、毎年全都立学校対象のスポーツ施設等安全管理講習会において、文科省の「水泳の手引き(三訂版)」の内容を参考として示している。
 ○今後とも、学校経営支援センターと連携し、同様の事例が発生しないよう、引き続き状況把握と学校への指導に努めている。

(4)1~3の要求を実行した際は、その旨をホームページ又はその他都民が確認できる方法で公表すること。
 (都教委の回答)
 ○個別の対応事例について、ホームページ等で公表することはしていない。

はしりがき2・0
 △皆さんこんにちは。日本自治委員会議長兼インタースクールジャーナル編集長の平松けんじです。今日から私個人のコラムとして「はしりがき」を書くこととした。ヤマブキジャーナル編集長だった時代のノリで好き勝手書いていくスタイルでやってみよう。このところよろしく。▽さてそんなこんなで小欄を執筆しはじめたわけだが、そもそも私のことを知らない人もたくさんいるよね。ということで軽く自己紹介。私は高校に6年通った自他ともに認める変人。高校5年目の秋、ちょうどした出来心で校内新聞を作り始めたら意外と人気出ちゃって調子に乗って、今もニュースサイト「インタースクールジャーナル」を運営している。▽今、私は、児童生徒の自由と人権が蹂躪されている学校教育に強い憤りを感じている。小中高と自分の好き勝手に生きてきた私からすると、今の児童生徒は監獄に閉じ込められた囚人のようだ。「中高生らしく」といった意味不明な年齢差別主義で髪型や服装を厳しく制限され、校則で移動の自由まで奪われる。教師は権威を振りかざし恐怖で生徒を支配し、時には「体罰」と称する暴力に及ぶ。こんなメチャクチャなことが許される「学校」。私はこんな学校教育の異常な現状と全力で闘っていく所存だ。

都教委が聴取 都小山台 水泳後に5人が保健室へ

東京都立高校における低温下・雨天下水泳授業強行問題に関し、東京都教育委員会、都立小山台高校、都立国立高校、都立立川高校への聴き取り調査結果を、5日、明らかにした。都立小山台高校では、6月12日に水泳授業が行われた後、保健室に生徒5名が来訪していた事実が新たに明らかになった。当日、水泳授業が行われた際の気温・水温は、気温22度、水温が20度だったという。これまで同校の青木副校長は、授業途中に男子生徒2名、授業直後に女子生徒が体調不良になった旨を述べていたが、今回、都教委の聴き取り調査により新たに体調不良者の人数が増えていたことがわかった。(編集局)

本紙ウェブサイト

